

第6学年 総合的な学習の時間 学習指導案

平成29年1月26日(木) 5校時
場所 教室

1 単元名 八潮の歴史を調べよう (歴史・伝統・文化)

2 単元の目標

社会科で学んできた「ふるさと八潮」の地域学習を生かし、八潮の伝統、文化、産業などについて調べる活動を繰り返し行い、八潮市の歴史的価値を見出したり、これからの八潮に期待したりするなど、自分の住む町に対する考えを見つめ直し、自己の生き方を考えられるようにする。

3 単元について

(1) 単元設定の理由

地域の伝統、産業、文化を生かし、それらに触れたり地域の人々とかかわったりする学習を行うとともに、互いに教え合い学び合う活動をしながらか問題解決していくことで、主体的、協働的に学習する態度を育成することができる。また、児童に身近な地域を学習材とすることで、地域での自己の役割について思考を深め、実践的な態度を養うことができると考えた。

(2) 児童の実態

第3、4学年の社会科の学習で、八潮市の様子、人々の働く姿、昔の人の暮らしと願い、住みよい暮らし、八潮の開発などを学習してきた。また、第3学年のふるさと科「学区探検をしよう」では、八潮市の産業、公共施設見学などを行っている。しかしながら、一言で「八潮の歴史」とはいうものの、その内容はあいまいな児童もいることが分かった。また、情報の整理・分析が甘く、考えを十分伝えることができてないという課題もある。

そこで、総合的な学習の時間については、80%の児童が「すき」と回答している実態を生かし、自ら進んで課題を調べる中、調べたことを分類、比較、関連付けるなど、整理・分析する時間、意見交換する時間などを意図的に設け、自分なりの考えをまとめられるようにしていきたい。

(3) 教材について

八潮市の「ふるさと科」では、「八潮市の人・環境・文化をつくる」ことを目指している。身近な地域の伝統・文化・産業について知るとともに、それらを守っている人を知り、伝統・文化・産業を守っていくことの大切さを、この「ふるさと科」をとおして育成していく。

本単元では「八潮市の歴史」を調べていく過程で、「八潮をどんな町にしたいか」を考えることから始まり、「自分たちにできることは何か」まで思考する活動につなげたい。そのためにも、第3学年での学習を土台としつつ、第4学年「地域のお年寄りの方との交流会をしよう」や第5学年「環境について調べよう」で学んだことを生かせるようにする。人とかかわりを通して、伝統や文化の価値に気づかせ、思考を深めさせ、地域の一員として自己の役割について考え、実践できる態度を育成していきたい。

4 単元の評価規準

観点	(ア)よりよく問題を解決する資質や能力	(イ)学び方やものの考え方	(ウ)主体的・創造的・協同的に取り組む態度	(エ)自己の生き方
評価規準	①八潮の伝統、文化、産業について触れたりする中から課題を設定している。 ②課題を解決するために解決方法や手段を考え、取り組んでいる。	①課題解決に必要な情報収集を行っている。 ②情報を整理・分析をし、考えを深めている。	①八潮について既習の知識や新しい発見を結びつけて考えようとしている。 ②友達と交流し、課題解決に取り組んでいる。	①伝統を受け継いでいこうとする気持ちを高めている。 ②これからの八潮（町づくり）に対する自分の考えを持ち実践しようとしている。

5 単元の指導計画・評価計画（35時間）

学習過程時間	学 習 活 動	・指導上の留意点 ◎評価 【評価の観点】
ふれる 4	○第3学年「ふるさと八潮」の学習、ふるさと科「学区探検をしよう」の学習を想起し、八潮の歴史や産業、文化を詳しく学んでいくことを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">八潮の歴史を調べよう</div>	・これまでの八潮についての学習から学習活動の見通しをもてるようにする。 【ア② ウ①】〈発表〉
つかむ 3	○伝統、文化、産業、生活、水害などについて知るとともに、先人たちの努力を知る。 ・資料館見学を振り返り、話し合う。 ・八潮の伝統、文化、産業、芸能などについて写真、VTR 視聴をする。 ○ウェビングを活用し、イメージを広げる。(グループ) ○重要、気になるキーワードに印をつける。 ○友達のと考えと比較しながら、学級、個人の課題を明らかにする。 ○課題を設定する ○学習計画を立てる	・副読本「ふるさと八潮」八潮市刊行物「八潮のむかしばなし」「川に抱かれて」等を使う。 ◎八潮について、既習の知識や新しい発見を結びつけて考えようとすることができる 【ウ①】〈ワークシート〉
	○課題解決に向けて必要な情報を収集し、整理したり分析したりしな	・これまでの学習、体験活動を振り返り、八潮について考える手立てになりそうなことを予想し、イメージマップに整理できるようにする。 【ア① ウ②】〈ホワイトボード、発表〉 ・自分の八潮についての認知度を考えさせ、疑問を生じさせる。 ◎自分が設定した課題の解決のための活動の見通しを持ち、学習計画を立てることができる。 【ア①】〈ワークシート〉
		・各自の学習計画に基づき活動していくようにする。

調 べ る 22	<p>がら思考する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習計画にそって調べる。 ・集めた情報を整理し、分からないこと、もっと詳しく調べることなどを明確にする。 <p>(夏季休業中は八潮市立資料館、図書館などの施設も活用する。)</p> <p>○中間発表の準備をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動計画、実施内容を記録させ、学習活動を把握するとともに支援する。 <p>◎課題解決に向けて、探究活動に取り組もうとしている。</p> <p>【ア②】〈観察、ワークシート〉</p> <p>◎様々な方法で収集した情報を、必要な情報について整理・分析することができる。</p> <p>【イ①②】〈観察、振り返りカード〉</p>
本時	<p>○中間発表会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番伝えたいことと調べた方法など発表する。 <p>○みんなで話し合いをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いを参考に、自分の課題を見直し、新たに調べたいことを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる課題の児童が互いの考えに刺激を与えながら交流し、追究へと向かわせる。 <p>◎八潮の魅力やよさ、再発見に気づき、課題の見直しができる。</p> <p>【イ② ウ①②】〈発言、振り返りカード〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八潮の魅力、よさ、再発見などを確かめられる活動ができるようにする。
	<p>○似た課題を持つ者で課題を解決するための情報収集をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことの整理・分析をする。 ・調べたことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの仕方についても考えさせる。 ・追究したことを生かして、10年後の八潮プランなどの考えを持つことで社会への参画意識を持たせたい。 <p>◎課題解決に向けて、探究活動に取り組もうとしている。</p> <p>【ア②】〈観察、ワークシート〉</p>
広 げ る 6	<p>○発表会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表後の振り返りをする。 ・単元のまとめと自己評価をする。 	<p>◎相手を意識し、自分たちの考えた方法、手段で伝えることができる。</p> <p>◎今後、自分の生き方につながったか、自分ができることを文章まとめる。</p> <p>【エ①②】〈発表、振り返りカード〉</p>

6 本時の学習指導 27/35

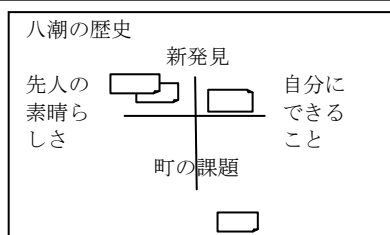
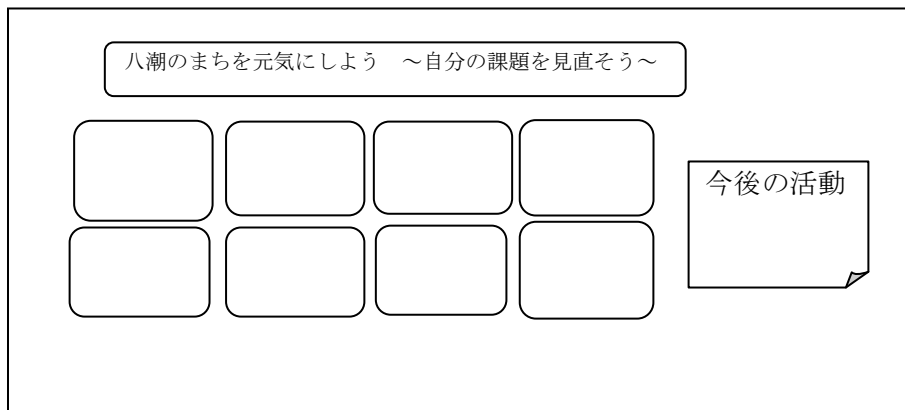
(1) 目標

八潮の歴史について、これまで収集した情報や中間発表会で得た八潮の魅力やよさ、再発見をもとに話し合い、考えを深めたり、視野を広げたりすることができる。

(2) 展開

過程	学 習 活 動	・留意点 ○支援 ◎評価〈評価方法〉	時間
つかむ	1 本時の課題を知る。	・八潮の歴史について友達と話し合い、自分の課題を見直す時間であることを押さえる。	5
	八潮について話し合い、自分の課題を見直そう。		
活動する	2 ペアやグループで「八潮のよさ、魅力」について話し合う。	○話し合いが苦手な児童でもカードを操作し、分類できるシート（ボード）を持って話し合いに臨むようにする。 ・前時まとめたシートを使わせる。 ・ペアやグループ内で友達の意見やアイデアをしっかりと聞き、対話を通して思考や表現を練り上げられるようにさせたい。 ・同じことでも、見方がかわると素晴らしさ、課題などがあることに気付かせる。 ・お互いの共通点を認めるだけでなく、相違点を認め、そのよさを生かし合いながら学ぶようにさせる。 ◎自分の思いや考えを伝え合い、学び合うことができる。【ウ②】〈話し合い〉	23
	3 話し合ったことをもとに自分の課題を見直す。	・個人でまとめさせる。 ・「八潮にはどんな魅力があるか、好きか」「八潮をどんな町にしたいか」「こんな八潮になってほしいから、ここが問題点・課題」という観点にそって考えを持てるようにする。 ◎収集した情報を目的に合わせて整理、分析し、異なる考えに気付き共通性や関連性を見い出だし、今後の活動の見通しを持つことができる。	12
振り返る	4 本時の活動を振り返り、次時への見通しを持つ。	【イ②】〈ワークシート〉 ・課題解決に向けて、グループで協力して情報収集してよいことを確認する。	5

7 板書計画



8 参考文献

小学校学習指導要領 平成 20 年 3 月 文部科学省

小学校学習指導要領解説「総合的な学習の時間編」平成 20 年 8 月 文部科学省
総合的な学習の時間における評価方法等の工夫改善のための参考資料

平成 23 年 11 月 文部科学省 国立教育政策研究所

埼玉県小学校教育課程編成要領 平成 21 年 3 月 埼玉県教育委員会

埼玉県小学校教育課程指導資料 平成 22 年 3 月 埼玉県教育委員会

埼玉県小学校教育課程評価資料 平成 23 年 3 月 埼玉県教育委員会

今、求められる力を高める総合的な学習の時間 平成 22 年 11 月 文部科学省